

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組※交付申請時に変更した場合は、これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
132276 羽村市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	町内会やPTAへの加入減少により、子どもと地域の繋がりが希薄となっており、コミュニケーション能力や社会性を養う機会が減っている。	地域の人材や団体と協力し、学校や家庭だけでは経験することの難しい学習・体験活動事業を実施する。	令和6年度は、ボランティアスタッフによる「バレーアート体験」と、新たに東京都の事業を活用し、専門人材によるスポーツ教室を2回、科学実験教室を1回実施した。	地域の人材や団体との交流機会及び体験活動を経験する児童の増加	放課後子供教室を対象とした学習・体験活動の実施事業数	2	件	4	4	令和7年度は、市内企業と連携した「ペットボトル教室」、市内ボランティア団体による「16ミリフィルム映画会」、ボランティアスタッフによる「バレーアート体験」、東京都補助による活動プログラムの4事業を実施し、児童に様々な体験活動の機会を提供することができた。今後も持続可能なプログラムの提供のため、特別な体験プログラムの実施ができる企業や団体を発掘していきたい。課題としては、プログラムの実施について、学校への事前説明や実施場所の確保など、学校の理解と協力が必要であると考えている。	https://www.city.hamura.tokyo.jp/0000021093.html